

令和3年度 第2回 大阪府市文化振興会議 議事概要

- ◆日時：令和4年3月29日（火）15時から16時30分まで
- ◆場所：大阪府咲洲庁舎41階 共用会議室8
- ◆出席委員：蔭山委員、梶木委員(オンライン出席)、片山委員、永田委員、中西委員、橋爪委員、春野委員、広瀬委員、藤野委員(オンライン出席)、森口委員

【概要】

1 会議の成立について

(事務局)

- ・委員11名中9名の委員の出席により、会議が有効に成立していることを報告

2 大阪府市の文化事業について

(橋爪会長)

- 議題1「大阪府市の文化事業について」でございます。

今年度から新たな文化振興計画に基づき施策を進めております。本会議としても引き続き進捗状況を把握し、チェックしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。それでは、大阪府、大阪市の今年度の事業実績及び来年度の事業予定についてご説明をお願いいたします。

(事務局)

- ・「資料3-1」、「資料3-2」及び「参考1」に基づき、大阪府の文化事業について説明
- ・「資料4-1」、「資料4-2」及び「参考2」に基づき、大阪市の文化事業について説明

(橋爪会長)

- ありがとうございます。ただいまの説明に、ご質問、ご意見等はございますか。

(蔭山委員)

- 寄附型自動販売機と寄附型クレジットカードについて説明をお願いできますでしょうか。

(事務局)

- メセナ自動販売機につきましては、各飲料会社と協定を結び、設置する自動販売機の売上の一部を文化振興基金に寄附していただくもの。
- 次世代メセナ自動販売機は大阪府の施設内に自動販売機を設置し、施設使用料を免除する代わりに売上の一部を寄附していただくものとなっている。
- 寄附型クレジットカードについても、利用額の一部を基金に寄附していただくものとなっている。

(蔭山委員)

○これは大阪府が初めての試みですか。

(中西委員)

○全国初かどうかはわからないが、比較的早い時期から初めている。地域アーツカウンシルの全国組織であるアーツカウンシル・ネットワークにて紹介したところ、このような取組みを活用したいという意見もいただいている。

(蔭山委員)

○アーティスト情報発信事業について、ジャンルもたくさんあり、情報を集めるのも難しいし、発信によりアクセス数を増やしていくのも難しい事業だと思うが、どのように運営しているか。

(事務局)

○アーティストバンクについて昨年度実施したアンケートによると、残念ながらあまり活用されていないという結果ではあったものの、今年度ホームページを見やすくし、写真付きで発信するなど、活用促進に向けて取り組んでいるところ。

(中西委員)

○補足しますと、SNS が活用される前からの取組みであり、インターネットに親しくない世代の登録が大半を占めている。年度毎に少しずつメンテナンスされている。将来的によりよく、変わっていく可能性はあるのではないのでしょうか。

(橋爪会長)

○メセナ自動販売機は 2007 年で都道府県としては初の試みだったかと思います。防災とも連動していて緊急事態の際にはメッセージが流れて、飲料も無料提供されるという仕組みになっているものもある。

○他に質問はございますか。

(森口委員)

○万博記念公園に設置されている大阪府のコレクションの彫刻作品 10 点ほどの修復・修繕に取り組もうとしているところ、10 点ほどの作品のうち、作者の名前はわかるものの権利者の名前がわからない、作品自体も劣化が激しいものもあるということで、enoco に残っている 7885 点もの作品についても、今のような状態で置かれているのかについて非常に疑問がある。府民の方々にとって大きな財産であるべきものであるこれら作品について、府の見解を聞きたい。

(事務局)

○すでに収蔵庫等様々なところで保管させていただいております。現物の確認が必要という認識のもと、指定管理者の募集の際にも、5 年間で全ての作品の実査を行うことを条件とさせていただいたところ。

○美術作品は取得から 30 年近く経っているなか、点検等補修の必要性も高まってくることから、確認作業を進めたいうえで、対応を考えていく。

(森口委員)

○修復作業をするには、作品の権利者へ断りを入れる必要があるが、作品の権利者の名前もわからない状況なので、10 点の作品については手のつけようがないということになった。7885 点の作品はどうなるのか。

(中西委員)

○大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)の事業を4年間みてきた。何よりも、まず予算が非常に少ないことが問題である。館の運営、作品の管理に対する総予算が大変少ない。さらには権利者を含めて、作品について研究を重ね、説明責任をはたせるような経験とスキルがあり、継続的に携われる学芸員という存在がないのが問題である。府民の方々にも修繕が必要という啓発ができればと思い、事業評価の際にも提案させていただいた。常に修繕しなくてはならないということを見える化することから始め、取り組まなければならないということは発信し続ける必要がある。

(橋爪会長)

○大阪府としても問題意識を持っているということも確認されましたので、まずは全体の状況の把握を。

(永田委員)

○博物館や美術館には収蔵品を管理・運営していく人材が必要。大学や専門家の中にもそれらを見ることができる人材は大阪にもたくさんいると思うので、お願いしてもらえればと思います。

(中西委員)

○7000点超という数が多すぎて大変に感じてしまうが、予算が充分でない現時点においては、数点ずつでもスポットを当てて状態を見ていくということしかできない。それは始まりつつある。少しずつでもやっていこう、発信しつづけることで、計画的に専門性を高めることが事である。

(永田委員)

○大阪府市の事業について、どこに力を入れていくかと考えていくかという議論も必要。どの事業も必要なものなので、それぞれに濃淡をつけるというのは難しいとは思いますが、重要なことだと思う。
○また、もう一点ですが、それぞれの事業ごとに独立したカテゴリで行うのではなく、場合によっては何かのイベントに文楽の上演を併せて行うなど、融合的なイベントをたくさん作っていくことも文化の力を前に進める原動力になると思うので、カテゴリをクロスオーバーさせていくということも必要なのではないかと。

(橋爪会長)

○ありがとうございます。ご意見として承りました。

○この2年間ほどは、コロナ禍における事業者のサポートが重点化で予算組みされていると思うが、その後どのような方向性になるかというのは、次期計画の際にウィズコロナ、ポストコロナに向けた計画にシフトするだろうとは思っています。

(春野委員)

○ワッハ上方についても、どういった資料がどこに、どのような状態で、どのくらいあるのかについてお伺いしたい。

(事務局)

○ワッハ上方については、約7万点に及ぶ資料を府民の方々や演芸家の方々からご寄贈いただいております。これらの

資料については大阪府咲洲庁舎にて、温度管理や紫外線にも配慮のうえ収蔵しております。

○収蔵資料としては、SP レコードや舞台の台本、直筆原稿やポスター等がございます。これらについては、難波のワッハ上方にて常設展示や企画展示、体験エリア等で府民のみなさまに見ていただけるように活用しております。館外展示についても考えているところでございます。

(春野委員)

○ありがとうございます。コロナ禍にもかかわらず色々と魅力的な企画を考えてくださっており、一定のファンがついて足を運んでもらえていると感じております。

(広瀬委員)

○芸術創造館について、2点伺います。1点目は、芸術創造館の指定管理者がなぜ一年で辞退してしまったのか。2点目は、アーティストサポート事業を実施され、窓口を芸術創造館に置くということですが、どうしても、どういった方が窓口業務にあられるのかについて教えていただきたいです。

(事務局)

○コロナ禍により、非常に経営が厳しく、また緊急事態宣言が五月雨式に発出されたことにより、開館と臨時休館を繰り返すなかで、資金繰り等を含めた経営環境に非常に不安感を持たれたことにより、1年で辞退されるということになったところです。今年度、新たな指定管理者募集に関しては、様々な方のご意見を伺いながら予算の増額等色々と改善いたしました。今後行政としてもこのようなことが起こらないように、十分にサポートしながら指定管理施設の継続を考えているところでございます。

○2点目のアーティストサポート事業については、今年度、助走的に本市でアートマネジメントの専門家を直接雇用し、相談窓口を開設いたしました。そのなかでニーズがあるという認識を改めて持ったことから、4月より芸術創造館においてアーティストサポート事業を行うこととなった。事業については、実績のある団体に受託していただけた。しっかりとサポートしていきたい。

(橋爪会長)

○ありがとうございます。予定時間を超過しておりますので、もし他にご意見があれば、会議の最後をお願いいたします。

3 大阪アーツカウンシルの取組みについて

※春野委員が所用により途中退席

(橋爪会長)

○続いて、議題の2つ目でございます、「大阪アーツカウンシルの取組みについて」です。今年度の活動実績について中西委員より説明をお願いいたします。

(中西委員)

・「資料5」に基づき、大阪アーツカウンシルの取組みについて説明

(橋爪会長)

○ありがとうございます。ただいまのご発言に関しまして、ご意見やご質問があればお願いいたします。

・出席委員から意見はなく、活動実績について了承

○先ほど次年度の施策のご説明もありましたので、府市で推進していただき、またアーツカウンシルも中西委員は交代となりますが、継続して今後とも活動していただけるよう引継ぎをよろしく願いいたします。

4 その他

(橋爪会長)

○最後に議題3「その他」でございます。

○本日は任期満了のため、令和4年3月31日をもってご退任される委員のみなさまに参加いただいております。一言ずつご挨拶を頂戴できればと思います。

・中西委員、藤野委員、森口委員より退任挨拶。 ※春野委員は途中退席の際に挨拶

(橋爪会長)

○ありがとうございました。また、本日の会議は欠席でいらっしゃるが、わかぎ委員におかれましては今年度をもって退任されます。みなさまにおかれましては長きにわたり府市の文化行政を推進していただき、会長として私からも改めて感謝、お礼を申し上げたいと思います。

○予定時刻となっておりますが、委員のみなさま最後に何かご意見はございますでしょうか。

(片山委員)

○アーツカウンシルが府市の事業に対して、一つ一つ丁寧に評価、コメントをしているというのは素晴らしいこと。他の自治体を見ても、そういった自治体はない。評価についても評論家的ではなく、きちんと現場を踏まえたうえでチェックしており、個々の事業の改善につながっていくと思われる。ただ、それら事業が全体のなかでどれくらいの割合を占めているのか、例えば1000必要であるにもかかわらず20しかできていない、また30必要ななかで20ぐらいは実施できている、という視点が必要。行政当局としては、全然足りないといったことを自ら発信するのは難しいと思うので、現場を見ているアーツカウンシルが、あとどれくらいの予算が必要であるかといったことを発信できると、より地域がよくなっていくと思う。

(橋爪会長)

○ありがとうございました。

○本日の会議は以上で終了いたします。進行を事務局にお返しします。

(事務局)

- ・資料の訂正について説明
- ・大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会 新部会長の選考結果について報告
- ・次回の会議開催について連絡

— 以上 —